



～3月のSNSより～(3月1日)

雲一つない暖かな朝、スイセンのおちよぼ口が「おはよう」と口ずさんでように咲き揃い3月がはじまりました。

連日の報道で承知の通り大きなイベントが中止になったり学校閉鎖になる心配が続いておりますね。

しかし、原因であるマイクロ世界の者の事を正しく知り予防に専念、何より回りの人や子供たちに無用で過剰な不安を与えない事が肝心だと思っております。早く収束する事を切望します。

園内各所で小さなお雛様とお内裏様に鎮座していただきました。



春彼岸会

令和2年3月春のお彼岸行事を行いました。

三寒四温、日々季節の移ろいを感じる3月の三連休は大きな天気の流れもなく穏やかな空の下、お参りされる方々がいらっしゃいました。

今回の行事におきまして新種のウィルスの影響で世の中が自粛ムードの昨今、外出を控え自宅で休校となった子供さんやお年を召した親御さんを介護なさり、あるいは様々な事情で来園できなかった方々からたくさんの手紙やお電話をいただきご供養と塔婆の依頼を賜りました。

参列できた方、できなかった方の双方全ての戒名紙は一つの漏れもなく読経時間に読み上げ、ご依頼された塔婆も一本一本間違いの無い様に定位置のお立てしました。

また時期をずらし来園される方もおりますので随時塔婆の受付をいたしております。

先の見えない不安が世界を席卷する中、早く収束しご家族皆さまのご健勝を可愛い子達に祈願し供養を務めさせていただきます。



花祭りの白い象

4月8日はお釈迦さまの誕生日で灌仏会(かんぶつえ)とも呼ばれております。

この日、世界中の仏教を教えとする国のお寺では白い象に乗ったお釈迦さまがたくさんのお花に囲まれ祀られます。何故お釈迦様は白い象に乗っているのでしょうか？

それはお釈迦さまのお母さんマーヤさんがある日眠りに就いてると夢の中で6つの牙を持つ白い象と出会いました。白い象はマーヤさんの体に溶け込み目が覚めた時、子供を授かりました。この時お腹にいた赤ちゃんがお釈迦さまです。

お釈迦さまが生まれた時、9頭の竜が吐いた天からの甘い水(甘露)を産湯にした言う伝説があり、これが釈迦像に甘茶をかける由縁なのです。

